

2023年9月13日

心臓血管内科部門、心不全・移植部門に通院中及び入院中の患者さん・ご家族様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2005年1月1日から2024年12月31日の間に、当院で心サルコイドーシスの診断を受けた入院患者さま。

【研究課題名】心臓サルコイドーシスの病態・長期予後に関する観察研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 心不全・移植部門 泉 知里

【研究の目的】心臓サルコイドーシスの患者さまの病状、検査結果と長期的な病気の状態、再入院の有無との関連性を調査するため

【利用する診療情報】(入院から概ね60ヶ月間の診療情報)

診療情報

年齢、性別、身長、体重、血圧、脈拍数、診断名、NYHA機能分類、基礎心疾患名、併存疾患情報、嗜好歴情報、既往歴情報、薬剤治療情報、心電図所見、胸部レントゲン所見、胸部CT所見、ホルター心電図所見、心外病変の情報、心臓植え込みデバイス治療(ペースメーカー、ICD、CRT-D)の有無。

血液一般検査

白血球数、白血球数分画、赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、血液生化学検査(アルブミン、AST、ALT、総ビリルビン、直接ビリルビン、クレアチニン、尿素窒素、尿酸、血清ナトリウム、血清カリウム、血清クロール、カルシウム、LDH、CRP)。リゾチーム、クレアチニンクリアランス、尿中微量アルブミン、血漿BNP、アンギオテンシンI変換酵素、可溶性インターロイキン2レセプター、血中トロポニン値。尿検査結果。

画像検査所見

心エコー図検査

下記については検査を受けられた場合に限りです。

FDG-PET、心臓MRI、ガリウムシンチグラフィ

心筋生検所見 (検査を受けられた場合に限りです)

その他 診療録より外来受診状況や再入院歴など。

【研究期間】研究許可日より2028年12月31日まで(予定)

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表

する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

この文書は、研究期間中、国立循環器病研究センター 公式サイト

(<http://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに公開しています。将来、この研究の計画を変更する場合や、収集した情報を新たな研究に利用する場合は、研究倫理審査委員会の承認と、当機関の許可を受けて行われます。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 心不全・移植部門 部門長 泉 知里
電話 06-6170-1070(代表)